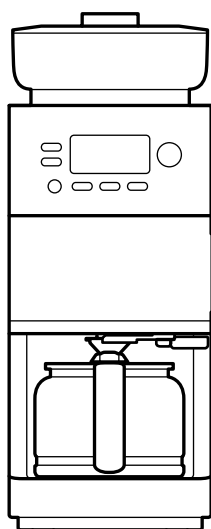


siroca

コーン式全自動コーヒーメーカー

SC-C251



取扱説明書 **保証書つき**

このたびはシロカ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。
この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

コーヒーの基礎知識	2
安全上のご注意	4
各部のなまえ・取り扱いかた	8
お使いになる前の準備	11
使いかた	12
タイマー（予約）の使いかた	17
お手入れ	18
故障かなと思ったら	20
仕様	22
部品・消耗品	22
保証とアフターサービス	23
保証書	24

| コーヒーの基礎知識

理想の一杯を見つけるために、コーヒーの基礎知識を少しだけご紹介します。

POINT1 コーヒー豆の購入と保存

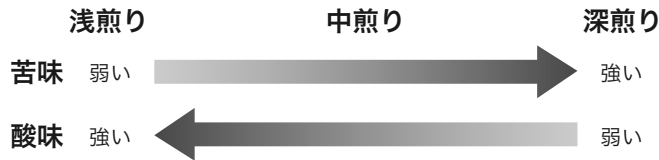
新鮮なコーヒー豆を、なるべく1週間で飲みきる量だけ購入しましょう。開封後は、密閉して冷暗所で保管しましょう。

本製品では…

本体上部のホッパーに、約200gまでのコーヒー豆を入れることができます。

POINT2 焙煎度について

コーヒーの風味は、焙煎の違いで大きく変化します。一般的に、浅煎りは酸味が強く、苦みは少なめ。深煎りになるにつれて、酸味が少なく苦みが強調されていきます。



POINT3 豆をひく

コーヒー豆はひいて粉になると、30分程度で味が劣化してしまいます。おいしいコーヒーを飲むためには、いれる直前にひくことが大切です。

また、コーヒー豆をひく際は、ひいた粒の大きさが均一になることも重要です。粒の大きさが揃っていないと、抽出にムラが出てしまいます。手回しタイプのコーヒーミルを使う場合は、なるべく同じ速度で回しましょう。

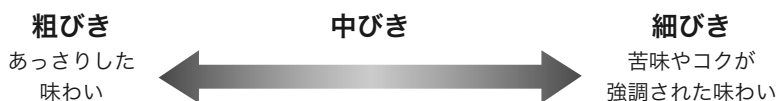
本製品では…

豆を均一にひけるコーン式ミルによって、コーヒーをいれる直前に豆をひきます。

そのため、ひきたての香りと新鮮でおいしいコーヒーが楽しめます。

POINT4 粒度による味の変化

ひいたコーヒー豆の粒の大きさのちがいで、味わいは変化します。細びきになるほど、粒の表面積が広くなり、お湯と接触する面積が多くなるので、コーヒーの成分が多く抽出される傾向にあります。



本製品では…

本体上部のひき目調節ダイヤルで、細びき～粗びきまで、無段階に調節できます。

お好みで粒度を調節して、味わいの変化をお楽しみください。

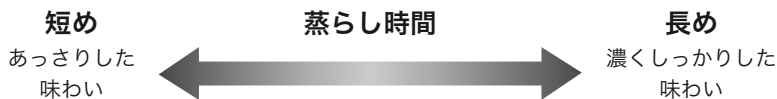
POINT5 フィルターの種類

ドリップコーヒーをいれるための、代表的な2種類のフィルターをご紹介します。

- ペーパーフィルター：ペーパーが油脂分やアクを吸着するため、クリアな味わいになります。コーヒーをいれた後はフィルターごと捨てるだけなので、後片付けも簡単です。
- ステンレスフィルター：メッシュが金属のため、コーヒーオイルまで抽出できることが特徴です。豆の個性をダイレクトに味わいたいときは、ぜひステンレスフィルターで入れてみましょう。洗剤で洗えるため衛生的で、繰り返し使えることもメリットです。

POINT6 蒸らし時間

コーヒーのおいしい成分を十分に引き出すためには、蒸らし時間をしっかりとることが大切です。抽出前に少量のお湯でコーヒーを湿らして、じっくり蒸らします。するとコーヒーに含まれるガスが放出され、コーヒーが膨らみます。この工程でコーヒーとお湯がなじみ、コーヒーの成分が出やすくなります。同じ豆でも、蒸らし時間で味わいの変化します。ハンドドリップでは蒸らし時間を短くすると比較的あっさりした味わいに、長くすると濃くしっかりした味わいになります。



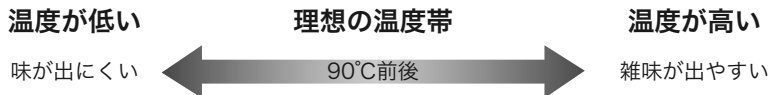
本製品では…

抽出の途中、約30秒間の蒸らしの工程が入ります。

POINT7 適切な温度でいれること

諸説ありますが、コーヒーをいれるのに理想の温度は90°C前後です。温度が低すぎると味が出にくく、高すぎると旨み以外の雑味も出てしまいます。本機では、理想の温度帯の中で浅煎り豆におすすめな[高温]と深煎り豆におすすめな[低温]を選ぶことができます。

ハンドドリップの場合は、沸騰したお湯をケトルに移し替えた温度が、ちょうど良いとされています。



デカフェコーヒーをいれるときは

《コース》ボタンで[デカフェ]を選べば、デカフェ豆専用によくゆっくと低温でコーヒーを抽出します。デカフェ専用の豆や粉をご用意ください(カフェインの除去はできません)

POINT8 できあがったコーヒーは、なるべく早く楽しんで

コーヒーの飲み頃の温度は68～70°Cといわれています。60°Cより冷めてしまうと美味しさを感じにくくなるので、コーヒーをいれたら温かいうちに飲みましょう。あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

コーヒーの好みは千差万別。味を変化させるコツをつかんで、自分の理想の一杯を見つけてくださいね。

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意 取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子ども、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
感電・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水につけたり、本体や操作部に水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



接触禁止

蒸気が出るところや保温プレートに触ったり、手や顔を近づけない
やけどの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

サーバー、給水タンク、ホッパーふたなしで使用しない
やけど・けがの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



禁止

落としたり、衝撃を加えたりしない
感電・故障の原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

<異常・故障例>

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- ・本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く

やけど・感電・けがの原因になります。

注意

設置に関する注意事項



禁止

不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない

転倒によるけが・故障や火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。
毛足の長いじゅうたん、ふとん、プラスチック樹脂 など



禁止

ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上で使わない

変形・故障の原因になります。



禁止

壁や家具の近くでは使わない

蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。



水ぬれ禁止

水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない

ショート・感電・故障の原因になります。

 **注意**

使用上の注意事項



接触禁止

使用中や使用後しばらくは、高温部に直接触れない

高温のため、やけどの原因になります。



禁止

専用のサーバー以外は使用しない

発火・故障・やけどの原因になります。



禁止

抽出中にサーバー・マグカップを外さない

やけどの原因になります。



禁止

サーバー・マグカップをセットしたまま本体を動かさない

サーバー・マグカップが外れて、やけど・けがの原因になります。



禁止

空だきをしない

給水タンクに水が入っていない状態で通電すると、故障・火災の原因となります。



禁止

サーバー・マグカップをセットせずに使用しない

故障・やけどの原因となります。



お手入れは冷えてから行う

高温部に触れ、やけどの原因になります。



プラグを抜く

長期間使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く

長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



水は常に新しいものを使い、給水タンクに水道水、ミネラルウォーターやアルカリイオン水を入れた状態で長時間放置しない、お手入れをこまめにする

長期間放置すると、腐敗や故障・変色・においの原因になります。特にミネラルウォーターや浄水器の水は、殺菌効果がないため、カビなどが発生しやすくなります。
本機は72時間水を放置すると[水かえ確認]を表示してお知らせします。



禁止

水以外のものを入れたり、沸かしたりしない

牛乳・紅茶・酒など水以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。



禁止

サーバーを落としたり、かたいものにぶつけたりしない

ガラスが割れる原因になります。また、故障・火災の原因になります。



禁止

サーバーが空の状態のまま保温しない

ガラスが割れる原因になります。また、故障・火災の原因になります。



2回連続して使用したあとは、保温を中止して、30分間休ませてから使用する

過度の連続使用は故障の原因になります。



禁止

サーバーを直火にかけたり、電子レンジで使用したりしない

ガラスが割れたり、取っ手が変形したり、金属部から火花が飛び散るなどの原因になります。



禁止

サーバーを冷蔵庫や冷凍庫に入れない

ガラスが破損して、けがの原因になります。




禁止

サーバーが熱いうちに水の中に入れて、水をかけたり、ぬれた場所に置かない

サーバーが破損しやすくなります。
万が一割れた場合は、破片を取り除くときに手を切らないように十分に注意してください。



マグカップなどに直接コーヒーをいれる場合は、必ず設定と、じかマグ切替レバーを切り替える

バスケットを手でおさえながら、じかマグ切替レバーをの位置(手前)に切り替えてください。

 **注意**



ミルの刃に触らない

ミルのお手入れは必ず付属のお手入れブラシを使ってください。けがの原因になります。



他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しない

蒸気により、電気機器の火災・故障・変色・変形の原因になります。



ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、お手入れをこまめにする

本体内部にミネラル成分が付着しやすくなったり、付着したミネラル成分がはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。



使用中にホッパーふたやバスケットを開けない

けが・やけどの原因になります。



使用直後の熱い保温プレートの上に電源コードをのせない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



コーヒー抽出直後にフィルターを直接触らない

やけどの原因になります。



給水タンクに満水の目盛り(MAX)以上の水を入れない

湯がこぼれたり、本体の底から湯が出てやけどの原因になります。



使用中に給水タンクを外さない



電源コードが通行や動作の妨げになるような場所で使用しない

電源コードが引っ掛かり、製品が落下して、けがや故障の原因になります。



屋外で使用しない

故障の原因になります。



直射日光が長時間あたる場所で使わない

故障の原因になります。



テーブルなどからはみ出した状態で使用しない

けが・やけどの原因になります。



ミルにコーヒー豆以外のものは入れない

故障の原因になります。



使用中や使用後しばらくはバスケットの下に手を入れない

しずくが垂れて、やけどの原因になります。



水なしで空運転、ミルの連続運転をしない

故障の原因になります。



カーペット・布製のテーブルクロスの上では使用しない

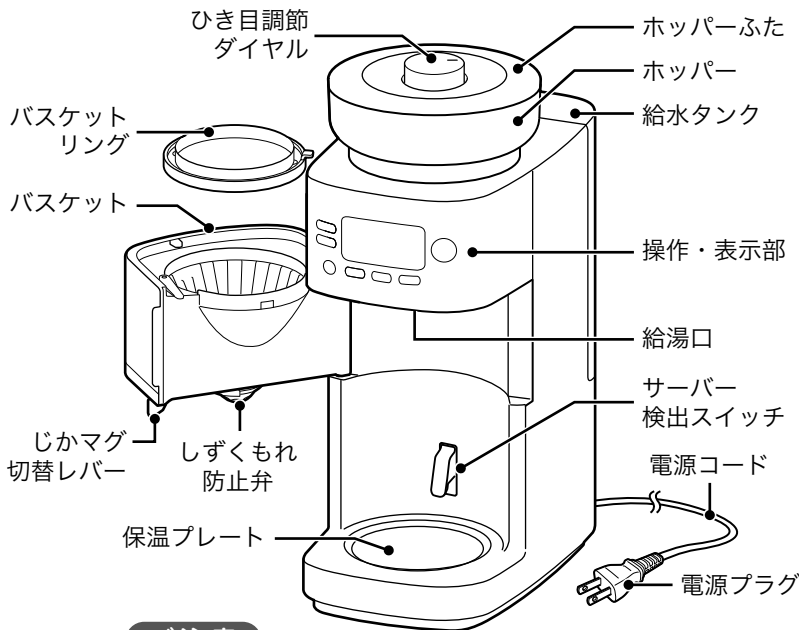
コーヒーが飛び散り、カーペットやテーブルクロスを汚す原因になります。



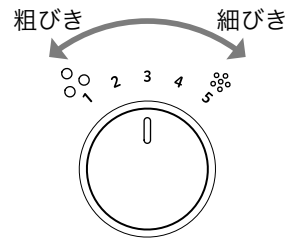
本体にふきんなどをかぶせない

変形や故障の原因になります。

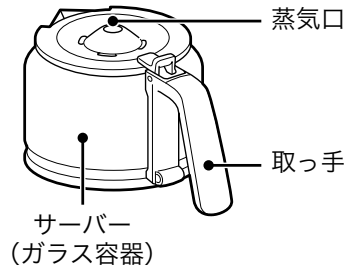
各部のなまえ・取り扱いかた



▶ ひき目調節ダイヤル



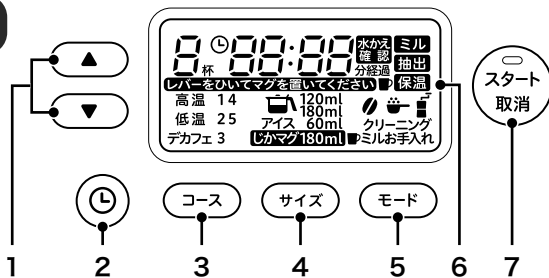
豆をひく際のひき目を設定します。コーヒー粉の粒度に合わせてひき時間を設定すると、おすすめのコーヒーのひき量に設定できます。 **16ページ**



ご注意

本製品にはフィルターが付属していません。台形型フィルターの2～4杯用のサイズ「1×2」または「102」をお買い求めください。

操作部



操作部の点灯と消灯について

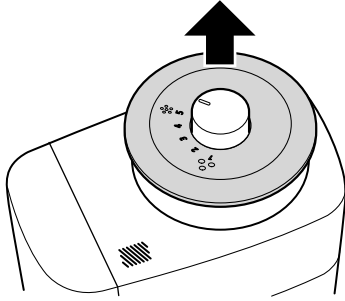
運転中以外は、何も操作をしないと約60秒で表示が消えて待機状態(時計表示)になります。もう一度ボタンを押すと点灯し操作ができるようになります。

名称	説明
1 ▲/▼ボタン	杯数選択、時刻、タイマー（予約）、ひき時間の設定をするときに押します。
2 ⌚(タイマー)ボタン	タイマーの入/切を切り替えます。タイマーが「入」のときに長押しすると、タイマー時刻設定に切り替わり、「切」のときに長押しすると、時刻設定に切り替わります。
3 コースボタン	コーヒーのテイストを設定します。高温/低温/デカフェの3種類から選択できます。ひき時間を設定するときは約2秒押しします。 16ページ
4 サイズボタン	コーヒーの抽出量(120ml/180ml)、アイス(60ml)、じかマグ(180ml)を選択できます。じかマグは自動的に1杯になります。
5 モードボタン	モードを選択します。☉(豆) / ☉(粉) / ☉(ミルのみ) / クリーニング / ミルお手入れの5つから選択できます。
6 表示部	メニュー、現在の工程、予約時間などが表示されます。
7 スタート/取消ボタン	抽出を開始する、中止するとき、保温を中止するときを押します。コーヒーの抽出・保温中に、ボタンが点灯します。中止した場合は消灯します。

ホッパーふた

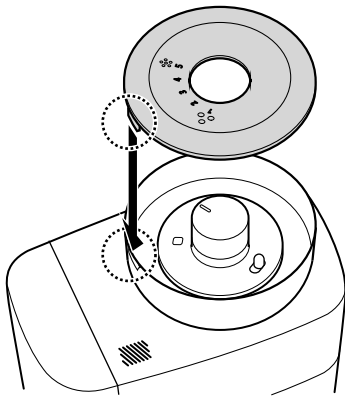
取り外しかた

上に持ち上げて外す



取り付けかた

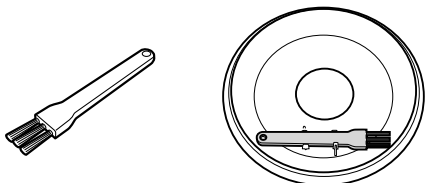
側面の突起を溝に合わせてはめ込む



ホッパー内部について

本製品は、コーヒー豆を使った検査をして性能を確認し、全品清掃をして出荷しています。コーヒー粉がホッパー内部に付着していたり、コーヒーのにおいが残っていたりすることがありますが、人体への影響はありませんので安心してお使いください。

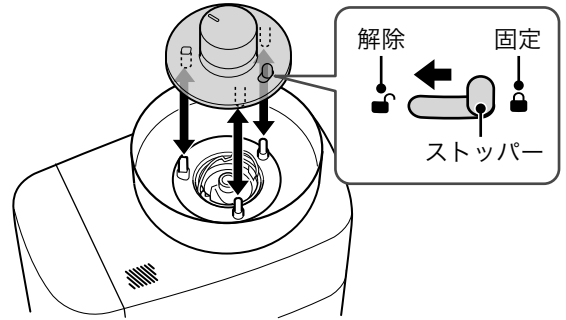
▶ お手入れブラシ



ホッパーふたの裏側に収納できます

ひき目調節ダイヤル

ストッパーを☞(解除)側にずらしながら取り外し／取り付けをする

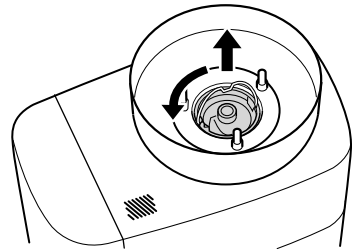


- 取り付けるときは、カチッと鳴るまでしっかりと奥まで取り付けてください。

ミル上側

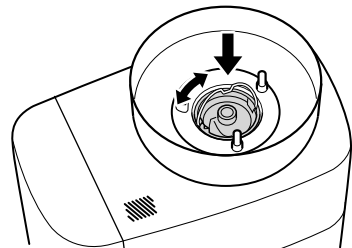
取り外しかた

ミル上側の取っ手を反時計回りに止まるまで回してから持ち上げる



取り付けかた

- ①ミル上側をミル内部に差し込んでから軽く回して、奥まではまる位置に合わせる



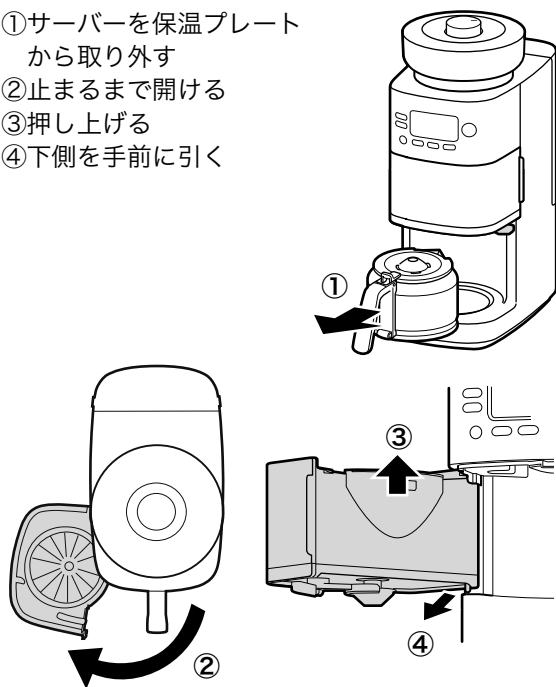
- ②取っ手を時計回りに止まるまで回す
取っ手を軽く引っ張って、ミル上側が抜けないことを確認してください。

| 各部のなまえ・取り扱いかた

バスケット

取り外しかた

- ①サーバーを保温プレートから取り外す
- ②止まるまで開ける
- ③押し上げる
- ④下側を手前に引く

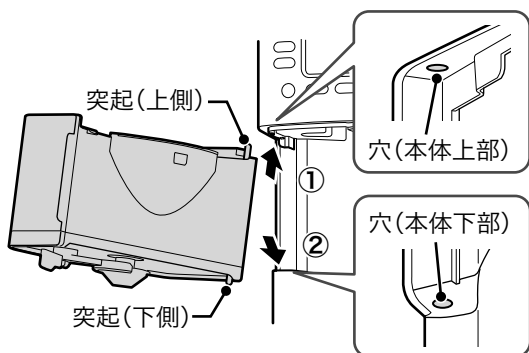


ご注意

- バスケットを開けるときは、先にサーバーを保温プレートから取り外してください。バスケットにサーバーが引っかかり、保温プレートからサーバーが落下して、けがや故障の原因になります。

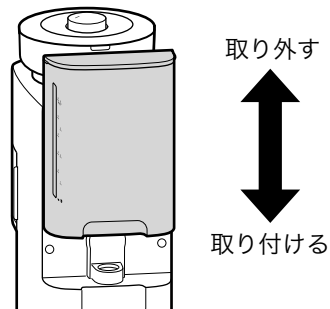
取り付けかた

- ①バスケットの突起(上側)を本体上部の穴に差し込む
- ②バスケットの突起(下側)を本体下部の穴に取り付ける



給水タンク

取り付けるときは、奥までしっかり押し込む



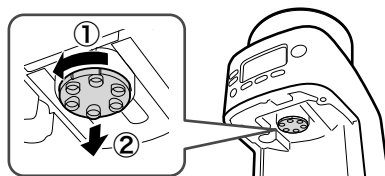
ご注意

- 給水タンクは奥までしっかり取り付けてください。水漏れの原因になります。

給湯口

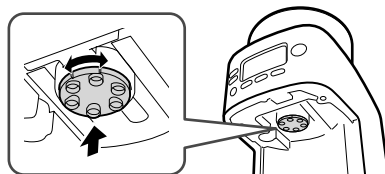
取り外しかた

- ①給湯口を矢印の方向に止まるまで回す
- ②下に引く

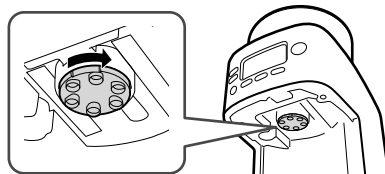


取り付けかた

- ①給湯口を本体側に差し込んでから軽く回して、奥まではまる位置に合わせる



- ②給湯口を矢印方向に止まるまで回す



お使いになる前の準備

時計を設定する

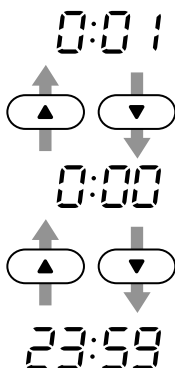
- ① 電源プラグをコンセントの奥まで確実に差し込む

自動で時計の設定モードになり、[0:00]が点滅します。



- ② 時計を設定する

《▲》 / 《▼》ボタンを押すと、1分間隔で時間が変わります。長押し(1秒以上)すると、連続で10分ごとにカウントアップ/ダウンします。



- ③ (L) (タイマー)ボタンを押して確定する

時刻を合わせたら、(L) (タイマー)ボタンを押して確定します。

[:]のみが点滅すると、設定は完了です。

時計を再設定する

時計がずれている場合は、下記の方法で時計を設定しなおしてください。

- ① 操作・表示部が消灯している状態で (L) (タイマー)ボタンを長押し(約3秒)し、時刻設定モードに切り替える

タイマーが「入」の状態でも (L) (タイマー)ボタンを長押しすると、タイマー時刻設定モードに切り替わります。

- ② 時計を設定する

➡「時計を設定する」手順②以降 **11ページ**

▶ 時計の記憶保持について

電源プラグをコンセントから抜いた状態が約1週間続くと、設定内容がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。

洗浄する

はじめて使う場合や、しばらく使っていなかった場合は、洗浄してからお使いください。

- ① 水洗いできる部品は、本体から取り外して洗う
➡「お手入れ」 **18ページ**

- ② 洗った部品の水気を十分に切ってから、本体に取り付ける

- ③ 給水タンクに6杯分の水を入れて、本体に取り付ける

- ④ サーバーを保温プレートにセットする

- ⑤ モード、サイズ、コース、杯数を設定する

- 《モード》ボタンを押して ☕ (粉)
- 《サイズ》ボタンを押して120ml
- 《コース》ボタンを押して[高温]
- 《▲》 / 《▼》ボタンを押して6杯

- ⑥ 《スタート/取消》ボタンを押して、スタートする

- ⑦ 本体が冷めるまで約30分待ってから、サーバーのお湯を捨てて水ですすぐ

- ⑧ 手順③から手順⑦を、1回～2回繰り返す

プラスチック特有のにおいについて

使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。

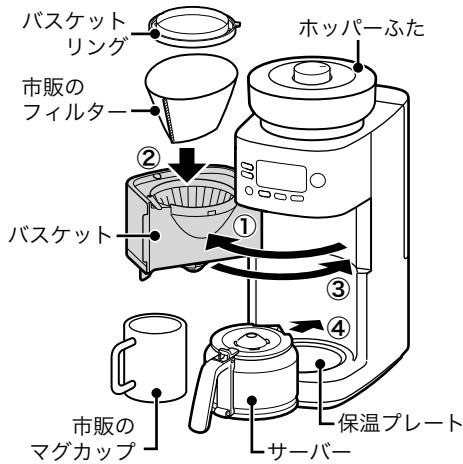
お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は1～2回、水またはお湯だけで抽出してからお使いください。

それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください。 ➡「本体内部のクエン酸洗浄」 **19ページ**

使いかた

準備する

1 フィルターをバスケットに取り付け、サーバーまたは市販のマグカップを保温プレートに載せる



- ① バスケットを開ける
- ② フィルターをバスケットに取り付け、バスケットリングで固定する
- ③ バスケットを閉める
- ④ サーバーまたはマグカップを保温プレートにセットする

ご注意

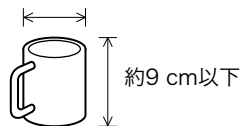
フィルターを必ず取り付けてください。
取り付けないとコーヒーを抽出できません。

マグカップについて

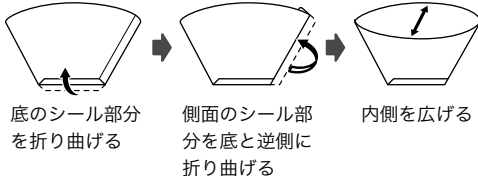
下記のサイズのマグカップをお使いください。

約6～9 cm

- ・直径：約6～9 cm
- ・高さ：約9 cm以下
- ・容量：250 ml以上



ペーパーフィルターの折りかた



台形型フィルターの2～4杯用のサイズ「1×2」または「102」を使ってください。

2 コーヒー豆またはコーヒー粉を入れる

コーヒー豆の場合

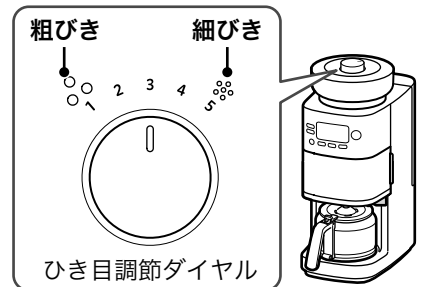
- ① ホッパーふたを取り外す
- ② ホッパーにコーヒー豆を入れる
コーヒー豆は約200gまで入れられます。

ホッパーに入っている豆の量や、豆の大きさによって、ひかれる量が少なくなったり、均一にひかれなくなったりすることがあります。

- ・豆が軽かったり油が多かったりする場合(ミル内部に豆が入っていないため)
- ・豆が非常に硬い場合



- ③ ホッパーふたを取り付ける
- ④ ひき目調節ダイヤルを回して、粒の粗さを設定する



- ⑤ 《コース》ボタンを長押し(約2秒)し、ひき時間を設定する

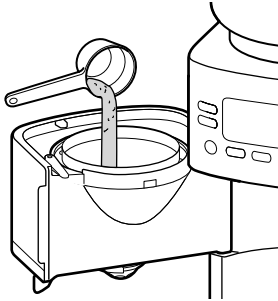
→「ひき時間を設定する」16ページ

ご注意

- ・ホッパーふたの内側・ホッパーがぬれている場合は、油分や水気を十分にふき取ってください。
コーヒー豆が付着してホッパーに残る原因になります。
- ・湿ったコーヒー豆を入れしないでください。

コーヒー粉の場合

- ① 取り付けしたフィルターに、コーヒー粉を入れる



コーヒー粉の目安

	120 ml アイス用60 ml	マグ用 180 ml
1杯	—	10 g
2杯	16 g	20 g
3杯	20 g	29 g
4杯	27 g	35 g
5杯	32 g	—
6杯	35 g	—

- ② バasketを閉める

3 給水タンクに水を入れ、本体に取り付ける

- 目盛りは目安です。本製品は杯数にあわせて水量を排出します。
- 給水タンクを本体に取り付けた後は、本体内部に水が流れ込み、目盛りより水位が下がることがあります。
- アイスコーヒーの場合は、ホットコーヒーの半分を目安に水を入れてください。

ご注意

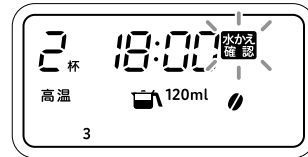
- 給水タンクにお湯や水以外を入れないでください。
- 給水タンクを本体に取り付けた状態で水を入れないでください。
水が本体内部に入り、故障の原因になります。
- 最低の目盛り(《120》の場合は2、《180》の場合は1)より多くの水を入れてください。
故障の原因になります。

消音モード設定／解除する

設定するときは、ミルや抽出を行っていない状態(表示部に時刻のみ表示された状態)で、《サイズ》ボタンを長押し(約5秒)します。
解除するときは、再度《サイズ》ボタンを長押し(約5秒)します。

水かえサインについて

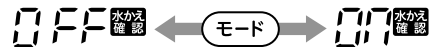
72時間経過すると、表示部の[水かえ確認]が点滅してお知らせします。以下の方法で水を排出してください。



- ① 空のサーバーを保温プレートに載せ、《モード》ボタンを押し、[クリーニング]を選択する
- ② 《スタート/取消》ボタンを押しサーバー 1杯分の水が排出されます。給水タンクに水が残っている場合は、手順①から繰り返してください。

水かえサイン確認の非表示／表示を切り替える

- ① 《モード》ボタンを長押し(約3秒)して水かえサインを点灯させる
- ② 《モード》ボタンを押し、[OFF]と[ON]を切り替える




- ③ 《モード》ボタンを長押し(約3秒)して設定する。

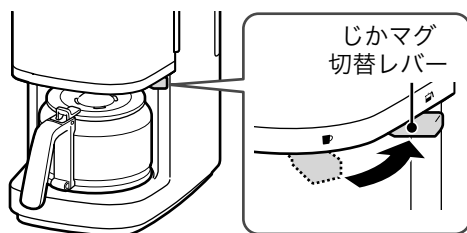
コーヒーをいれる

あらかじめカップを熱湯などで温めておくと、よりおいしくお召し上がりいただけます。

1 コーヒーをいれるサーバー、またはマグカップを用意する

▶ サーバーにいれる場合


- ① **じかマグ切替レバーを確認する**
じかマグ切替レバーが  の位置(本体側)になれば、切り替えてください。

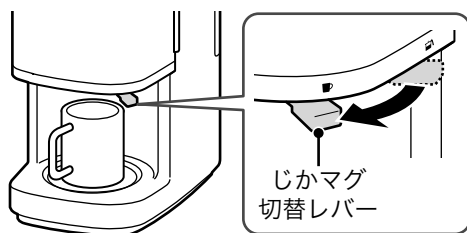


- ② **《サイズ》ボタンを押し、1杯分の抽出量を選択する**
[120ml]、[180ml]、[アイス60ml]から選択してください。



▶ マグカップにいれる場合



- ① **バスケットを手でおさえながら、じかマグ切替レバーを切り替える**
じかマグ切替レバーを  の位置(手前)に切り替えてください。



- ② **《サイズ》ボタンを押し、[じかマグ180ml]を選択する**



2 《モード》ボタンを押し、 (豆モード)か (粉モード)を選択する

コーヒー豆からいれる場合は  (豆)モード、コーヒー粉からいれる場合は  (粉)モードを選択していることを確認してください。

3 《▲》 / 《▼》ボタンを押し、杯数を設定する

選択したサイズによっていれられる杯数が違います。

[120ml]	: 2杯~6杯
[180ml]	: 2杯~4杯
[アイス60ml]	: 3杯~6杯
[じかマグ180ml]	: 1杯



4 《コース》ボタンを押し、コースを選択する


高温、低温、デカフェの3種類から選択できます。



5 《スタート/取消》ボタンを押し、スタートする

《スタート/取消》ボタンが点灯し、約30秒間の蒸らしの工程のあとコーヒーの抽出が始まります。途中で動作を中止したいときは、再度《スタート/取消》ボタンを押します。

【じかマグ180ml】を選択した場合

[レバーをひいてマグを置いてください]と表示されます。じかマグ切替レバーが  (マグ)の位置にあること、マグカップをセットしていることを確認して、もう一度《スタート/取消》ボタンを押してください。

▶ 抽出が終了すると… (保温について)

終了音が鳴り、抽出終了後30分間は自動的に保温されます。保温時間の表示が1分ごとにカウントアップしていきます。

保温を中止するには《スタート/取消》ボタンを押してください。(保温機能だけを使うことはできません)

[じかマグ180ml]、[アイス60ml]でコーヒーをいれた場合は保温されません。



▶ 使用後は

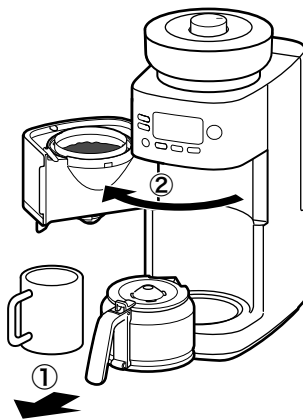
本体が冷めてからお手入れしてください。

① サーバー、またはマグカップを保温プレートから取り外す

② バスケットを取り外す

▶ 「取り外しかた」

9ページ



ご注意

バスケットを開けるときは、先にサーバーを保温プレートから取り外してください。

バスケットにサーバーが引っかかり、保温プレートからサーバーが落下して、けがや故障の原因になります。

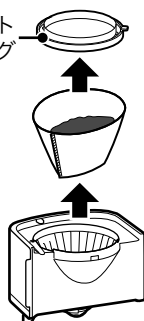
③ バスケットリングを取り外し、フィルターをバスケットから取り外す

バスケット
リング

④ お手入れする

▶ 「お手入れ」

18ページ




水洗いできる部品は、本製品を使うたびに必ず洗ってください。抽出済みのコーヒー豆・コーヒー粉はバスケット内に放置せず、早めにお手入れしてください。そのまま放置すると、カビや雑菌が発生する原因になります。

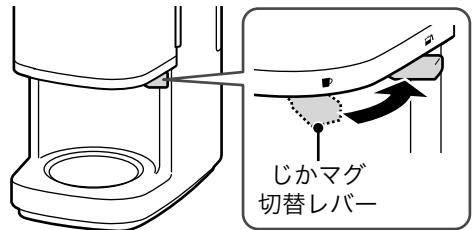
ご注意

• 抽出中は絶対にバスケットを開けたり、バスケットから出る蒸気に触れたりしないでください。

お湯や高温の蒸気が出てくるため、やけど・けがの原因になります。

• 2回連続して使用したあとは、《スタート/取消》ボタンを押して保温を中止して、30分間休ませてから使用してください。過度の連続使用は故障の原因になります。

• マグカップにコーヒーをいれ終わったら、じかマグ切替レバーをの位置(本体側)に切り替えてください。





▶ サーバーの取り扱いについて



ご注意



• 抽出直後のサーバーは高温になっています。サーバーを持つときは必ず取っ手を持ち、取っ手以外に触らないように注意してください。

• サーバーからは高温の蒸気が出ます。やけどに注意してください。

表示部に[ ]が表示された場合

給水タンクに水がありません。

[ ]が表示されてから5分以内に給水タンクに水を追加すると、抽出が再開されます。

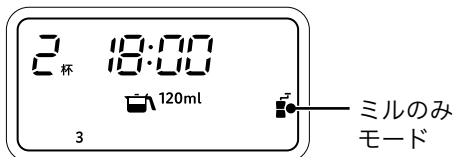
《スタート/取消》ボタンを押して[ ]表示を消した後、画面に[抽出]が表示中に再度《スタート/取消》ボタンを押すと、抽出が再開されます。

豆をひく(ミルのみモード)

1 フィルターをセットしたバスケットを、本体に取り付ける

2 《モード》ボタンを押し、ミルのみモードを選択する

ミルのみモードのマークが表示部に表示されていることを確認してください。



3 《サイズ》ボタンを押し、抽出量を選択する

ミルのみモードでは、《サイズ》ボタンを押しても[じかマグ180ml]を選択できません。

4 《▲》 / 《▼》ボタンを押し、杯数を設定する

• 選択したサイズによっていられる杯数が違います。

[120ml] : 2杯～6杯

[180ml] : 2杯～4杯

[アイス60ml] : 3杯～6杯

5 《スタート/取消》ボタンを押し、スタートする

ミルを動作させ、豆をひきます。動作中は《スタート/取消》ボタンが点灯します。

6 本体からバスケットを取り外す

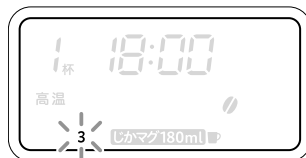
本体からバスケットを取り外してから、コーヒー粉をフィルターごと取り出してください。

ひき時間を設定する

本機は杯数にあわせてミルの動作時間を設定しています。そのため、ひき目調節ダイヤルの位置によって、粗びきの場合は多めに、細びきの場合は少なめにひかれます。

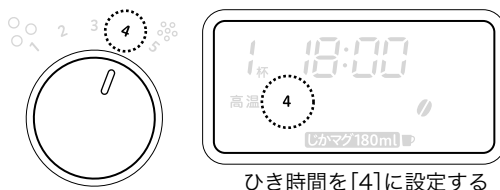
あらかじめ、ひき目調節ダイヤルの位置にあわせて、ひき時間を設定すると、おすすめに近いコーヒー粉の量に設定できます。

① 《コース》ボタンを長押し(約2秒)する
ひき時間が点滅します。



② ひき時間を選択する
《▲》 / 《▼》ボタンを押しして1～5を選択してください。ミルの動作時間が長いと豆がひかれる量が増えます。

例：ひき目調節ダイヤルが《4》の位置の場合



③ 《コース》ボタンを押しして決定する
ひき時間が点灯に変わります。

▶ コーヒーが濃く(薄く)感じられたとき

ミルの動作時間を調節し豆がひかれる量で濃度を調節することができます。

ひき時間設定	ひき目調節ダイヤル				
	粗びき 1	2	3	4	細びき 5
1	おすすめ				
2		おすすめ			
3			おすすめ		
4				おすすめ	
5					おすすめ

豆の種類によって、コーヒー粉があふれる場合があります。

- 粗びきからさらに薄くする(粉の量を少なくする)、細びきからさらに濃くする(粉の量を多くする)ことはできません。
- ひき目調節ダイヤルを粗びき側《1》～《2》にあわせた場合、ひき時間を《4》～《5》に設定すると、杯数と豆の種類によって、コーヒー粉がフィルターからあふれる場合があります。杯数が多い場合(120 ml / アイス60 ml : 4杯以上、180 ml : 3杯以上)は、ひき時間を《3》以下に短くして、豆をひく時間を調整してご使用ください。

タイマー（予約）の使いかた

タイマーを使うと、あらかじめ設定した時刻に運転を開始できます。

タイマーを使うには時計の設定が必要です。

→「時計を設定する」**11ページ**

1 部品の取り付けや、コーヒー豆・粉の準備をする

「使いかた」**12ページ** の手順1～手順3を参照してください。

ご注意

必ずコーヒーをいれる準備をしてください。準備し忘れると、抽出中にコーヒーがあふれ出し、機器の故障・周囲の汚損の原因となります。

2 抽出の設定をする

「コーヒーをいれる」**14ページ** の手順1～5を参照してください。

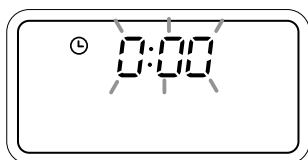
3 (タイマー)ボタンを押す

ⓐ(タイマー)アイコンが点灯し、タイマー(予約)を開始します。

- ⓐ(タイマー)アイコンが表示中に、もう一度ⓐ(タイマー)ボタンを押すと、タイマー(予約)を解除できます。

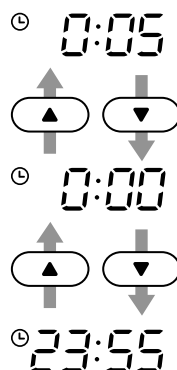
4 (タイマー)ボタンを長押し(3秒以上)して、タイマー時刻の設定モードに切り替える

タイマー時刻の設定モードに切り替わると、時刻表示が点滅します。



5 タイマー時刻を設定する

《▲》/《▼》ボタンでタイマー時刻を設定します。ボタンを押すと、5分間隔で時間が変わります。長押しすると、連続でカウントアップ/ダウンします。



6 (タイマー)ボタンを押して、タイマー時刻を確定する

- タイマー時刻が点滅から点灯に切り替わり、タイマー時刻が確定します。タイマー(予約)中は、予約時間が表示されません。
- タイマー(予約)中でも、抽出設定を変更できます。

ご注意

- 電源プラグをコンセントから抜くと、タイマー(予約)設定がリセットされるため、タイマー(予約)が実行されません。
- (タイマー)アイコンが点灯中は、《スタート/取消》ボタンを押してもスタートしません。コーヒーをいれる場合は、(タイマー)ボタンを押してタイマー(予約)を解除してください。

タイマー(予約)を繰り返し使うには

一度タイマー時刻を設定すると、電源プラグをコンセントから抜かない限り、設定時刻が記憶されます。

- ① いずれかのボタンを押して、コーヒーをいれる画面(杯数やサイズが表示されている画面)にする
- ② (タイマー)ボタンを押す
ⓐ(タイマー)アイコンが点灯し、タイマー(予約)を開始します。
ⓐ(タイマー)アイコンが表示中に、もう一度ⓐ(タイマー)ボタンを押すと、タイマー(予約)を解除できます。

お手入れ

お使いのたびに必ずお手入れをしてください。
電源プラグを抜き、本体が冷めてからお手入れしてください。

ご注意

- お手入れや部品の取り付け・取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めた後に行ってください。
高温部に触れると、感電・やけど・けがの原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。
表面を傷つける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。
- お手入れした各部品は、十分に乾いてから本体にセットしてください。
水気が残ったまま保管すると、カビや雑菌が繁殖する原因になります。

ミルのお手入れ

- ① ホッパーふた、ひき目調節ダイヤルを取り外す
➔ 9ページ
- ② ミル上側を取り外し、お手入れブラシで粉や破片を取り除く
➔ 9ページ
- ③ ミル下側と周辺の粉や破片を、お手入れブラシでミル内部に掃き落とす
- ④ ミル上側、ひき目調節ダイヤル、ホッパーふたを取り付ける
- ⑤ 《モード》ボタンを押し、[ミルお手入れ]を選択し、《スタート/取消》ボタンを押す
バスケットに粉や破片が落ちます。
- ⑥ もう一度《スタート/取消》ボタンを押して[ミルお手入れ]を終了する
《スタート/取消》ボタンを押さなくても、約5分後に[ミルお手入れ]が終了します。

ご注意

ミルのお手入れは必ず付属のお手入れブラシを使ってください。けがの原因になります。

やわらかいふきんで拭く

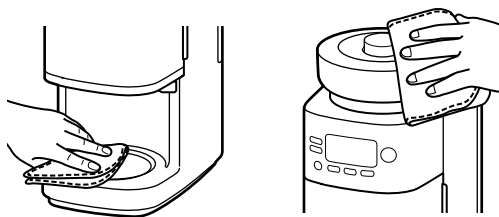
ホッパー内部・操作部下側

汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんで拭いてください。



本体外部・保温プレート

やわらかいふきんで拭きます。
汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



中性洗剤をつけたスポンジで洗う

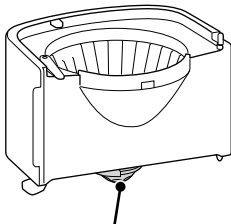
ホッパーふた
バスケットリング
ひき目調節ダイヤル
給水タンク
サーバー
バスケット
給湯口



中性洗剤をつけたスポンジで洗い、水で流します。
強い力を加えたり、たわし、研磨剤入りの洗剤などを使用したりしないでください。傷や破損の原因となります。
食器乾燥機・食器洗い乾燥機では使用しないでください。

しずくもれ防止弁のお手入れ

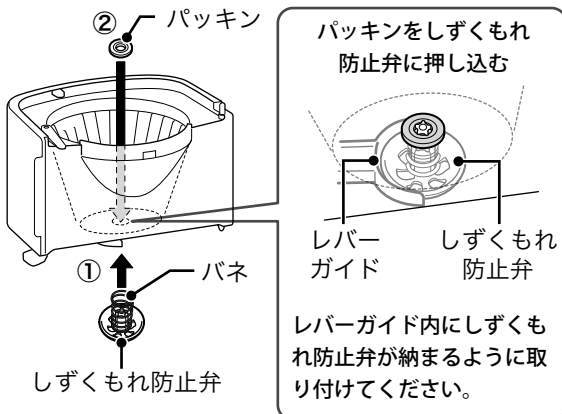
しずくもれ防止弁にコーヒー粉が詰まると、弁が閉まらずにコーヒーがもれることがあります。毎回お手入れしてください。
バスケットに水をためてから、しずくもれ防止弁を2～3回押し上げて、汚れを洗い流します。しずくもれ防止弁を強く引っ張ると、外れることがあるのでご注意ください。



しずくもれ防止弁

しずくもれ防止弁が外れたときは

- ① バネをつけたしずくもれ防止弁をバスケットの底面から差し込む
- ② パッキンをしずくもれ防止弁に押し込む
パッキンが手で取り付けにくい場合は、先の長いもの(口の広いストローなど)を使ってください。



給水タンク内部の汚れが気になるとき


給水タンクの満水を目盛り《MAX》まで40℃以下のお湯を入れ、クエン酸(約20g)を入れて溶かし、約12時間放置してください。
その後、よく洗い流してください。

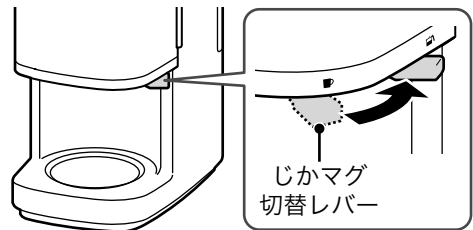
本体内部のクエン酸洗浄


使用しているうちに、水に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)が本体内部に付着します。これは水アカといわれるもので衛生上問題はありませんが、お湯の出が悪くなったり、コーヒーをいれるのに時間がかかるようになったりしたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。

おしらせ

ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水を使用している場合は、ミネラル成分が付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

- ① サーバーを保温プレートにセットする
- ② 給水タンクの6杯の目盛りまで水を入れ、クエン酸(約15g)を加えて溶かす
- ③ 給水タンク、バスケットを本体に取り付ける
じかマグ切替レバーが、の位置(本体側)にあることを確認してください。



- ④ モード、サイズ、コース、杯数を設定する
 - 《モード》ボタンを押して  (粉モード)
 - 《サイズ》ボタンを押して120ml
 - 《コース》ボタンを押して[高温]
 - 《▲》 / 《▼》ボタンを押して6杯
- ⑤ 《スタート/取消》ボタンを押し、スタートする
抽出が終了したら、お湯を捨てて、サーバーをよくすすぎます。
- ⑥ サーバーのお湯を捨てて水ですすぐ
- ⑦ クエン酸のにおいを取るため、水だけで抽出を2～3回繰り返す

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 《スタート/取消》ボタンを押しても動作しない

- 表示部に☉(豆)または☼(粉)マークが点灯していますか。
《モード》ボタンを押してください。
- 表示部に⌚(タイマー)アイコンが点灯していますか。
タイマー(予約)中は動作しません。⌚(タイマー)ボタンを押してタイマー(予約)を解除してください。

Q2 運転が途中で止まった

抽出完了後、連続して運転していませんか。
2回連続して使用したあとは、保温を中止して、30分間休ませてから使用してください。

Q3 コーヒーが抽出されない

- 給水タンクに水が入っていますか。
給水タンクに水を入れてください。
- 給水タンクが正しく取り付けられていますか。
給水タンクを正しく取り付けてください。

Q4 バスケットからコーヒーがあふれる

- フィルターが取り付けられていますか。
フィルターを正しく取り付けてください。
- コーヒー粉をコーヒー粉の目安量以上入れていませんか。
杯数に応じたコーヒー粉を入れてください。
- しずくもれ防止弁にコーヒーの粉が詰まっていますか。
しずくもれ防止弁はご使用ごとにお手入れしてください。
- サーバーが正しくセットされていますか。
サーバーを正しくセットしてください。

Q5 コーヒーがすべて落ちきらず、バスケットに残る

コーヒー豆の種類や使用量によっては、抽出終了後もバスケットの中にコーヒーが残る場合があります。その場合は、抽出が止まるまでお待ちください。

Q6 ひいたコーヒー粉がバスケットにたまらない

ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。
➔「ミルのお手入れ」[18ページ](#)

Q7 コーヒー豆がひけない

ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。
➔「ミルのお手入れ」[18ページ](#)

Q8 ミルがすぐに停止する

ミル内部にコーヒー豆やコーヒー粉が詰まっていますか。
➔「ミルのお手入れ」[18ページ](#)

Q9 ミル上側が本体から外れない

コーヒー豆をひいている途中でミルが停止していませんか。
ミルを動作させながら、ひき目調整ダイヤルを《1》(粗びき)に合わせ、コーヒー豆をひく音がしなくなるまで動作させてください。

Q10 コーヒーの味が異常に薄い/濃い

- コーヒー粉の量は合っていますか。
杯数に応じたコーヒー粉を入れてください。
- コーヒー豆の量は合っていますか。
ホッパーにコーヒー豆を追加してください。

Q11 お湯の出が悪い/抽出に時間がかかる

本体水注入口のフィルターにゴミが溜まっていますか。
または、本体内部に水アカなどが付着して汚れていますか。

水アカなどの汚れがひどくなると、お湯の出が悪くなります。
クエン酸洗浄を行ってください。

➔「本体内部のクエン酸洗浄」[19ページ](#)

Q12 コーヒーをいれるとプラスチック臭がする

使いはじめのうちは、本体のプラスチック部分が熱で温められることにより、プラスチック特有のにおいがすることがあります。お使いになるうちに少なくなります。気になる場合は1～2回水だけで抽出してからお使いください。それでも気になる場合は、クエン酸洗浄を行ってください。

▶「本体内部のクエン酸洗浄」 **19ページ**

Q13 しずくもれ防止弁が外れた

必要な部品(パッキン、パネ)が不足していないことを確認してください。

部品を紛失した場合は、お買い上げの販売店またはインターネットでバスケットをお買い求めください。

▶「しずくもれ防止弁が外れたときは」 **19ページ**

Q14 電源コード・電源プラグに損傷が見られる

直ちに使用を中止して、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q15 本体の部品や、サーバーなどを破損してしまった

お買い上げの販売店またはインターネットで部品をお買い求めください。

Q16 [E-]と数字が表示される

故障の可能性があります。電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。

Q17 [[07]]が表示される

ひき目調節ダイヤルをカチッと鳴るまで取り付けてください。《スタート/取消》ボタンを押すと表示が戻ります。

Q18 [[08]]が表示される

給水タンクに水がありません。

水がなくて止まったあと抽出を再開する場合は、5分以内に給水タンクに水を追加してください。

《スタート/取消》ボタンを押して[[08]]表示を消した後、画面に[抽出]が表示中に再度《スタート/取消》ボタンを押すと、抽出が再開されます。

Q18 [[09]]が表示される

バスケットを最後まで閉めてください。バスケットが少しでも開いていると、安全のため動作が止まります。

《スタート/取消》ボタンを押すと表示が戻ります。

Q20 [[11]]が表示される

サーバーをしっかりと保温プレートにのせてください。抽出を再開する場合は、5分以内にサーバーをしっかりと保温プレートにのせてください。

マグカップに直接いれる場合は[じかマグ180ml]を選択してください。抽出中に変更する場合は、一度《スタート/取消》ボタンを押して抽出を中止してください。

▶「マグカップにいれる場合」 **14ページ**

▶ 本体の設定をリセットする

リセットするには、運転を停止している状態で、《▲》ボタン、Ⓜ(タイマー)ボタン、《モード》ボタンを同時に3秒以上押しつづけます。

- 時計の設定が[0:00]に戻ります。
- コース、サイズ、モード、ひき目時間、タイマー（予約）など、設定内容がリセットされます。

また、電源プラグをコンセントから抜いた状態が約1週間続くと、設定内容がリセットされてお買い上げ時の状態に戻ります。

仕様

品名(型番)	コーン式全自動コーヒーメーカー (SC-C251)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	750 W
質量(約)	4.1 kg (付属品を除く)
外形寸法(約)	幅 16.6 cm × 奥行 27.3 cm × 高さ 42.1 cm(サーバー含まず)
抽出方式	ドリップ方式
最大使用水量	830 ml
電源コードの長さ(約)	1.2 m
付属品	お手入れブラシ
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

部品・消耗品

劣化・消耗したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店またはインターネットでご注文いただけます。詳しくは以下のホームページをご確認ください。

<https://siroca.jp/>

プラスチック部品はご使用にともない、傷んだり摩耗したりします。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
サーバー (ガラス容器)	SC-C251GP	ホッパーふた	SC-C251LB
給水タンク	SC-C251KT	バスケット	SC-C251DR
給水タンクふた	SC-C251KTF	しずくもれ防止弁	SC-C251PV
お手入れブラシ	SC-C111BR	給湯口	SC-C251KG
ひき目調節ダイヤル	SC-C251AD	バスケットリング	SC-C251RB
ミル上側	SC-C251ML		

保証とアフターサービス

— 必ずお読みください —

▶ 保証書(裏表紙)

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をご確認いただき、なお異常のあるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中(お買い上げ日から1年未満)の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている(お買い上げ日から1年以上)修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間です。消耗部品は保証期間内でも有料とさせていただきます。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料(故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金)と部品代(修理に使用した部品の代金)などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造終了後5年です。その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。

お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

長年ご使用の製品の点検を!

- 長年ご使用の製品では、電気部品の経年劣化による発煙・発火のおそれがあります。
- ご使用前に必ずご確認ください、次のような症状がある場合は、すぐに使用を中止し、お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターにご連絡ください。点検・修理費用などはシロカサポートセンターにご相談ください。
 - 電源プラグ・コードが異常に熱くなる
 - コードに傷がついたり、触れると通電したりしなかったりする
 - 本体が変形したり、異常に熱い
 - サーバー(ガラス容器)の取っ手がぐらつく
- 定期的に「安全上のご注意」や使いかた、ご注意を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

シロカの最新情報はこちらでチェック!



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/

保証書

持込修理

本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本書は大切に保管してください。
お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

品名：コーン式全自動コーヒーメーカー

お買い上げ日： 年 月 日

型番：SC-C251

製造番号：

保証期間：お買い上げ日より本体1年間

販売店：店名・住所・電話

お客様：

ふりがな

お名前

ご住所

お電話

お願い：未記入の保証書の場合、お買い上げ日を証明するレシート、送り状などを必ず添付してください。証明がない場合、保証対象にならない場合があります。

この保証書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。
お買い上げ日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき弊社が無料修理いたしますので、製品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、またはシロカサポートセンターまでご連絡ください。

ご転居、ご贈答などで、お買い上げいただいた販売店に修理が依頼できない場合は、シロカサポートセンターまでご連絡ください。

なお食品の補償など製品の故障以外の保証はいたしかねます。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、ガス害、異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。
- (4) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
- (5) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用など）に使用された場合の故障または損傷。
- (6) 本書のご提示がない場合。
- (7) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。お買い上げ日を証明するレシート、送り状などの証明書がない場合。通信販売、インターネットでお買い上げ時、ご注文確認メールなどご購入履歴を確認できるものの提示がない場合。
- (8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。（かすり傷、へこみなどを含みます）
- (9) 腐食による故障、及び損傷。
- (10) 消耗部品の交換。
- (11) お買い上げの製品が、有償無償を問わず譲渡されたもの（中古品）であった場合。

2. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。

3. 本書に基づく無料修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のお買い上げ時の保証期間が適用されます。

4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F

19090013

修理・使いかた・お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記までお問い合わせください。

ホームページ（お客様サポート）

電話でのお問い合わせ：シロカサポートセンター

よくあるご質問やメールでのお問い合わせはこちらをご覧ください。




<https://siroca.co.jp/support/>



部品・消耗品のご購入についてはこちらをご覧ください。

<https://siroca.jp>

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

受付時間：平日 **10:00～17:00**

土日祝 **10:00～12:00 / 13:00～17:00**

（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。

通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。

サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。